

陸軍省副官園部政藏殿

男爵立見尚文

採啓益々御仕剣多分を身深堀大尉ア行
遺族者義捐金募集義付別紙書趣書
御回送及慮右普通戦死トモ異ナリ事情
氣ノ毒母堪ガルモナリ就テハ出格ニ御配意ヲ
以テ御部内一統ハ御心添テ度此段特ニ及口依
頼候勿テ敬具
明治三十年八月十八日

0394

深堀大尉一行ノ為ニ義捐金募集主意書

千軍萬馬ノ間ニ馳騁シ、硝煙彈雨ノ衝ニ斃ル人生、快馬ヨリ大ニ
無シ、苦楚を経管、功業未タ成ス為ニ有ル材ヲ抱テ空ク、天南地北
ノ境ニ死ス人生悲馬ヨリ大ニ無シ、最ニ深堀大尉ノ一行、臺灣
橫貫鐵道線路探検ノ命ヲ受ケ埔里社ヨリ蕃界ニ入り、分水嶺ヲ
超テ、花蓮港ニ横断スキ目的ヲ以テ本年一月十一日臺北ヲ発シ同月
十八日埔里社ヨリ蕃界ヲ跋躑ミル來好機アル毎ニ埔里社守備隊
長ヲ經テ、屢々音信ヲ通セシニ其最右ノ報告ニ大尉カ吟囉咕蕃
ヨリ発セシモノニシテ實ニ一月廿八日ニ係リ、其要ニ曰ク、萬難ヲ排シ方
法ヲ盡シ漸ク本内蕃地ニ入ル約ヲ了セリ明廿九日、分水嶺ヲ躋
シトス、一行健全ト、境此簡明ニシテ氣魄凡報告ニ實ニ大尉カ
永訣ノ言辭ヲラント、今ニシテ當時ヲ追憶セ、轉テ暗涙ニ堪ヘカキ

ありし是ヨリ先キ、臺灣東海岸、北邊港附近大魯閣蕃社、状況
 不穩ノ聞ヘルヲ以テ、統督府、特ニ其危険ヲ避ケ深ク慎重ヲ加フキ
 注意ヲ與ヘ、更ニ飛電以テ大魯閣蕃社ノ着手ヲ告ケシメラル、當
 時此飛電、埔里社守備隊長ノ手ヲ至テ、大尉ヲ饒境ニ追躡セシ
 邊ニ達スルヲ得カリシト、嗚呼交通ノ途ナキ、又ト如何トモスル能ハサル
 ナリ、然ルニ大尉カ剛毅ニシテ任務ヲ果スニ熱心ナル、大塚川見ノ兩軍營、
 湯端ニ等卒ノ勇敢ナル原技師カ快活ニシテ調査ニ熱心ナル、高野通
 訳、板倉属、森屋負カ豪膽ニシテ勤勉ナル、傭人等堅忍ニシテ
 素樸ナル上下擧テ眼中危険ヲ視ス、胸中恐怖ノ念ナク一意専
 心、其成功ニ急ニシテ禍ノ其身ニ及フヲ顧ミルニ暇マラカリシモノ、蓋シ衆ノ
 然ラレシモ所ナシ、一行ノ音信久シク聞クテキヲ以テ、統督府、大ニ之ヲ
 慮リ先ニ埔里社撫墾署負ノ探訪トナシ、後ニ秋元、柿内、両少尉、
 探検トナレリ、殊ニ此後者ノ探検ハ、具ク辛酸ヲ嘗ク萬艱ヲ冒シタル

結果、不幸ニモ終ニ今日ニ至リ殆ト明確ニ大尉ノ一行ヲ四名カ擧テ
 埔里社ノ東、合歡山ノ西（ミナツケシ）溪ノ涯ニ於テ蕃人ノ掩撃ヲ受ケ
 非命ニ斃レシ凄絶惨々絶ニ証跡ヲ発見スルヲ得ルニ至リ、嗚呼痛
 哉、其収棺セル遺棄物ヲ探スルニ斑々タル血痕ト、数多ノ彈痕ト、
 脚絆外套ノ断片ト印シ、蕃槍無数ノ穿孔、傭人草衣ノ全幅ニ
 苗リ觀ルモノヲシテ切齒扼腕憤慨堪（サラシメ）テ當時如何ニ大尉一
 行カ苦戰奮闘セシヤヲ想像スルニ餘アラシム。夫レ此一行カ萬斛ノ怨
 ヲ宮ニテ、合歡山下、一塊ノ土ト化シ月寒ク風冷カク存幽魂淡
 水ノ隈ニ吟テ離レ其功績遺烈ニ決テ湮没ヲ許サルモノアリ若シ夫レ
 蕃人膺懲ノ方法ニ至リテ前後緩急當路自ラ成笑アテ將ニ
 以テ大ニ諸靈ヲ慰ムルノ日アル（キ）ヲ信ス、獨リ哀、千里故郷ノ遺
 族此変ヲ聞キ、其慟哭愁傷ノ情、眞ニ想ヒ見ル（キ）ナリ、抑モ大尉
 一行ノ遺績、其芳名ト共ニ永ク臺灣ノ歴史ニ灼耀タルニ足ル

0397

而シテ其ノ事ノ大ニ悲ム一キニ至リテ吾人同胞トシテ聞クモ一揆ノ
 熱淚ヲ灑カサルヲ得ニヤ茲ニ檄ヲ発シテ大方ノ義捐ヲ請ヒ以
 テ其遺孤ヲシテ父兄ノ遺志ヲ継クニ容易ナラシメ且ツ其遺族
 ヲ賑恤セシメス當ニ大尉以下一行ノ為メノミナラズ亦以テ後進有為
 ノ士ヲ激勵セシメルニ微意ニ外ナラズ請フ翼リ同感ノ諸君此ノ
 意ヲ諒シ尤記數項ノ方法ニ依リ俱ニ此舉ヲ贊助セラルヲ
 得ハ豈單ニ幽魂ヲ泉下ニ慰ルノミニ止マランヤ

0398

明治三十年八月

發起人姓名

男爵 立見尚文

藤田嗣章

木村新九郎

杉村 濬

楠瀬幸成

押上森藏

柳川則吉

中田時懋

青柳忠治

菊池主殿
澤井直三郎
飯田耿介
沖龍雄
木村匡
柳本通義
野島忠孝

伊藤百藏
伊藤亮五郎
太田朗
岩倉久雄
白水淡
鯉登行文
宮田百之介

有田正盛
高橋席太
高橋昌
横山壮次郎
八戸道雄
谷繁治
突戸内三郎

0399

深堀探検隊義捐金募集方法

一、本隊ノ廣告其他一切ノ取扱ハ各部團隊及諸官廳ニ向テ、
發起人ヨリ直接ニ之ヲ為シ地方人士ニ向テ之ヲ台湾新報、
滬日報、及西新聞社、特約セシ内地諸新聞社ニ委託ス

二、本隊ニ要スル諸費ハ然テ發起人ニ於テ負擔シ募集金ニ尤ノ
方法ニ依リ一切死者ノ遺族ニ寄贈ス

- 一、義捐ノ指名又ハ死者ノ階級ヨリ出金ノ分配ヲ望ムル時、其指
定ニ従フ故ニ出金者送金ト同時ニ其人ノ分配金高ヲ明記セシム
- 二、前項死者ノ指名ヲ送金一行總負ニ平等分ス

三、義捐銀行為替郵便為替又郵便切手(限以内)ヲ以テ
便宜送附セラレタシ

四、台灣總督府軍務局陸軍部内陸軍三等軍吏右繁治宛
ヲ以テ送金セラレタシ

五、各部團隊及諸官廳ニ在テ成ルル取纏ヲ送金セラレタシ

六、受領証發起人ニ於テ直接受領セシ分ニ限リ之ヲ發シ右新
聞社ニ受領セシ分ニ新聞社ニ於テ廣告其他適宜ノ方法ヲ以テ其
受領ヲ証ス

七、締切期限 今年十二月末日ノ末

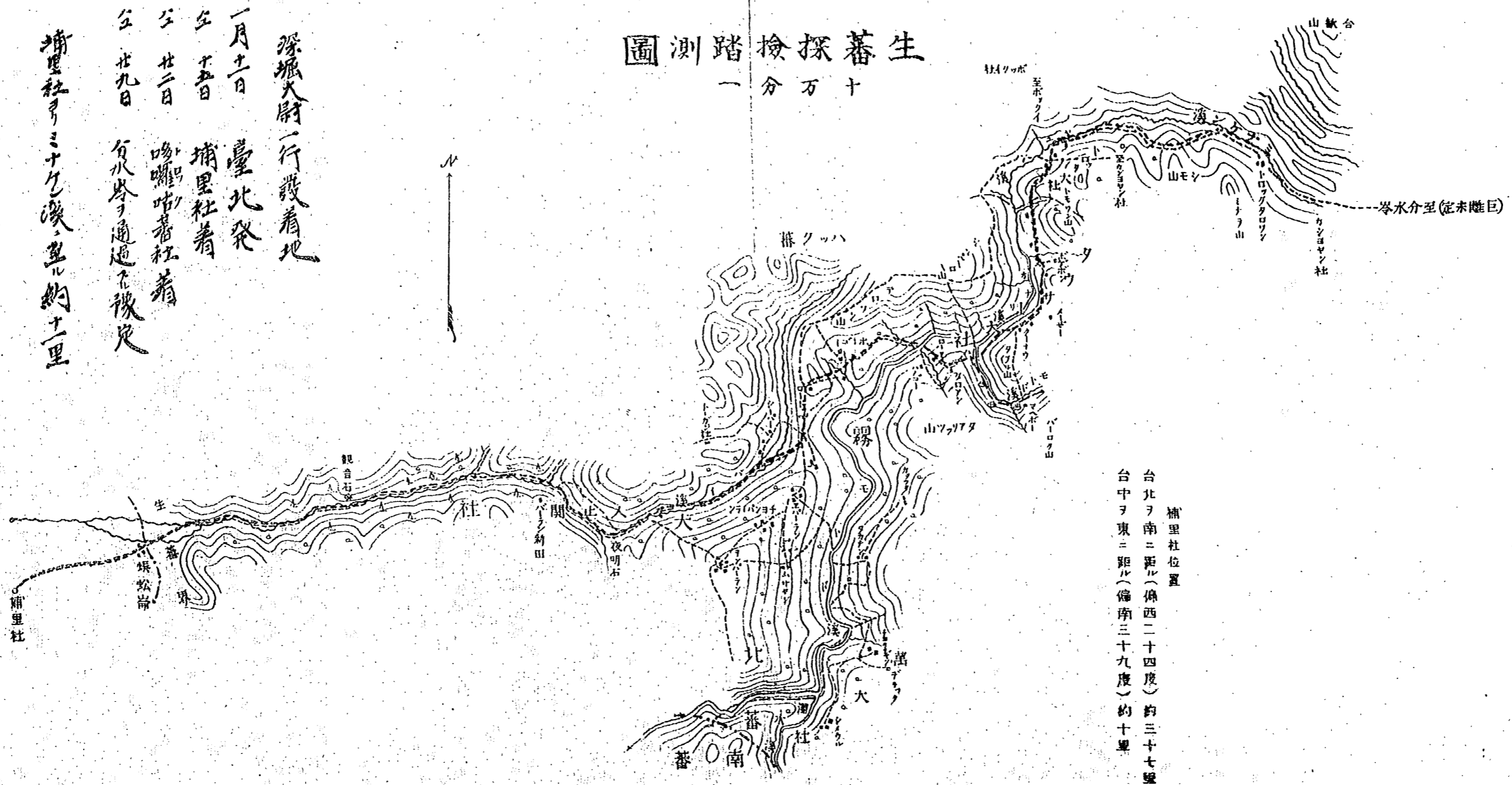
0401

八、本舉完結セ、第一項ノ諸新聞ヲ以テ其結果ヲ報告ス

0402

生蕃探檢踏測圖
十分萬一

深堀大尉一行發着地
 一月十五日 臺北發
 廿五日 埔里社着
 廿九日 吻囉咭社着
 廿九日 分水岭ヲ通過シ豫定
 埔里社ヨリ三ヶヶ峽ニ至ル約十二里



埔里社位置
 台北ヲ南ニ距ル(偏西二十四度)約三十七里
 台中ヲ東ニ距ル(偏南三十九度)約十里

0403

探検隊一行姓名

長崎縣肥前國西彼杵郡深堀村四百六番地士族

軍務局陸軍部第一課公算陸軍少佐大尉正七位 勲六等

深堀安一郎

長野縣信濃國上伊那郡南向村葛嶋平民

民政局技師林學士原 音吉

熊本縣肥後國飽託郡錢友村字三町二年八百六十四番地平民

守備步兵第三聯隊第三大隊 陸軍少佐一等軍曹 大塚安太郎

兵庫縣但馬國出石郡出石町内柳町士族

守備步兵第三聯隊第五大隊 陸軍少佐一等軍曹 川見萬吉

長崎縣肥前國南高來郡島原村字六番戶士族板倉勝廣方同居平民

軍務局屬勲八等 板倉龜五郎

佐 縣 長崎市長崎市本興善町十二番戶平民

軍務局屬勲八等 高野源之助

滋賀縣近江國神崎郡八日市町字金屋三百六十五番屋敷平民

雇員(看護長代用) 森伊三郎

0404

鹿兒島縣大隅國南大隅郡佐多村馬籠五十八番戶士族

守備步兵第三聯隊第三大隊 陸軍步兵上等兵 湯端東一郎

熊本縣肥後國鹿本郡廣見村大字四町千七百七十七番戶平民

備人 西牟田富造

立 縣立 國飽託郡船津村七百六十六番地平民

備人 立川 熊吉

立 縣立 國立 郡池上村大字戸板平民

備人 宮本 勝次

立 縣立 國土名郡大濱町八百八十六番地平民

備人 清藤 光次

立 縣立 國下益城郡隈庄村大字隈庄五百廿九番地平民

備人 前田 子之吉

福岡縣筑前國朝倉郡大三輪村千三百九十四番地平民

備人 山田 春吉